

平成30年度 普通会計決算

問 財政課 内線1221

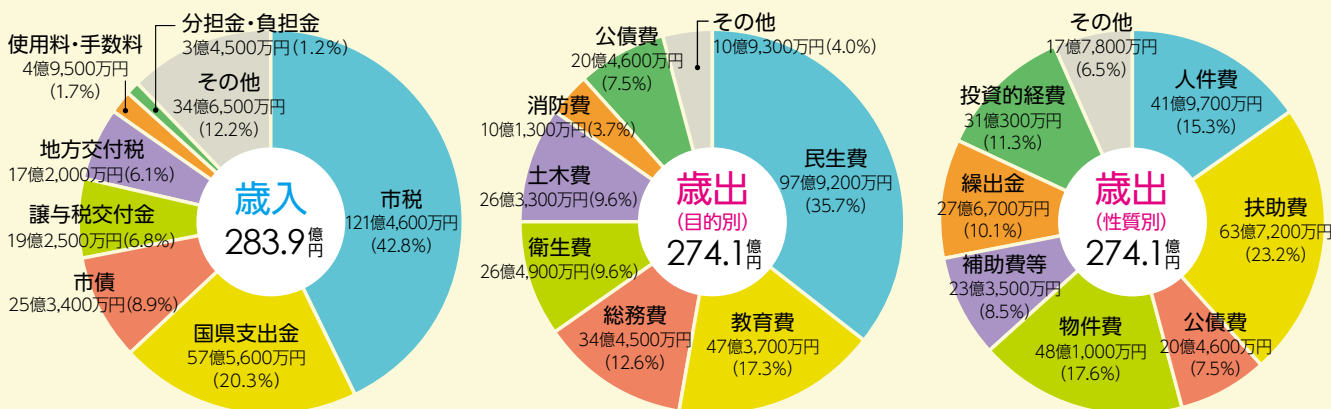
地方財政の状況を把握するため、総務省が行っている「地方財政状況調査(決算統計)」の平成30年度の速報値をお知らせします。

歳入 歳出 決算

歳入 **283億8,600万円**

歳出 **274億800万円**

普通会計決算は、前年度比で歳入は2.5%、6億9,600万円増、歳出は3.4%、8億9,300万円増となり、歳入歳出ともに過去最高額での決算となっています。市の歳入の根幹となる市税は順調に増加しており、平成25年度以降6年続けての増収となりました。



地方債残高(借入金残高)と公債費負担比率(ローン返済割合)

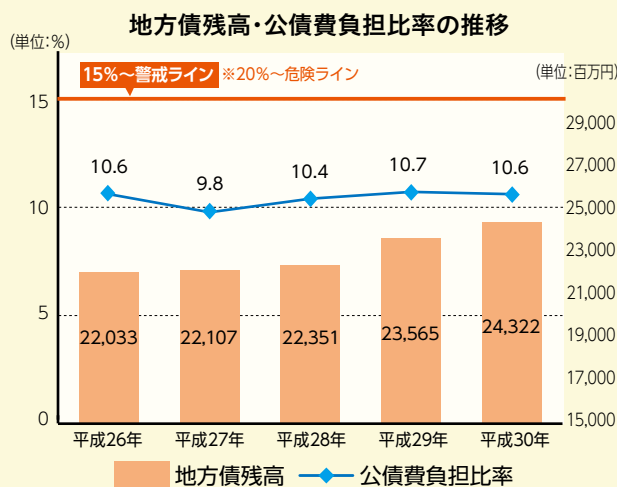
中学校や幼稚園、武道館の建設、クリーンセンターの改修など大規模事業を実施したため、地方債残高は増加していますが、財政運営の健全さを測るものさしのひとつである公債費負担比率は10%台で推移しています(15%が警戒ライン、20%が危険ライン)。

公債費負担比率は、家庭に例えると、給料に占めるローン返済額の割合のことです。平成29年度の公債費負担比率により、県内自治体の財政健全度をみると、当市は、44市町村では13番目、32市では6番目で上位となり、健全な財政運営が確認されました。

今後も計画的に事業を実施し、地方債残高と公債費負担比率の適正な管理に努めます。

(参考)平成29年度公債費負担比率 県内市町村の状況

| 県内平均値(44市町村) | 県内市平均値(32市) | 県内町村平均値(12町村) | 県内最高値 | 県内最低値 | 牛久市 |
|--------------|-------------|---------------|-------|-------|-------|
| 12.2% | 13.0% | 10.0% | 17.4% | 4.3% | 10.7% |



基金残高(預貯金残高)

大規模事業の実施に伴い、借入金である地方債残高は増加しましたが、預貯金である基金残高についても、平成28年度から平成30年度まで増加を続け、平成27年度と比べると、14億7,100万円の増額となっています。

今後、市が計画している大規模事業や公共施設の老朽化対策などを計画的に行うために、基金の残高確保に努めていきます。

